

図書館豆知識

「紀要」について



紀要とは、学会論文発表が難しい分野において、大学または研究所がその所属教員や研究員の学術論文を収載し、年1回発行される定期刊行物です。昨今では、若手研究者の研究発表の場を確保する目的も兼ねて各学部・研究科ごとに発表されています。明治20年代から学術論文は発表されてきましたが、紀要と記したのは1914年(大正3年)『東京帝国大学文科大学紀要』が初めてでした。全国の大学が紀要と称するようになったのは1952年(昭和27年)からです。(参考文献：日本国語大辞典、日本大百科全書)

紀要を読むとその大学でどのような研究が行われているかを知ることができます。是非、色々な大学の紀要を読んでください。八千代キャンパスの図書館では主に3階カウンター内書架や2階書庫に配架されています。閲覧の際はOPAC(蔵書検索機)で検索後、配架場所をメモまたは蔵書検索画面をプリントアウトしカウンターへお声掛けください。本学の紀要は図書館ホームページ (<http://sv2.opac.jp/paop/cgi-bin/index.cgi?LibId=047et2a>) から閲覧が可能です。

～卒業生・修了生の図書館利用申請について～

卒業後も図書館を利用することができます！

カウンターで利用申請を行ってください。

調べものや読書に、卒業後も是非ご利用ください。

<貸出条件>

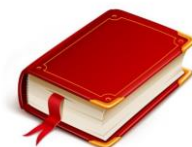
貸出冊数：5冊

貸出期間：1ヶ月

延長：不可

更新：1年更新(年度区切り1年間)

※申請時に印鑑(捺印)が必要です。詳しくは図書館司書までお尋ねください。



学生による

Book review



『マンガでよくわかる
教える技術』

著者 石田淳

発行社 かんき出版

2015年1月21日発行

【請求番号：336.4/I72】

図書館3階伝統ゼミ選書

本書は部下や後輩の育成に悩む多くの方々のバイブル『教える技術』(2011年6月刊行)のマンガ版。主人公のカジュアル衣料品店「ナチュラル」で働く店長の神吉凜は、中途社員・外国人社員・新人社員の仲間たちへの指導に悩み業績が伸び悩む日々。

しかし、とあるきっかけを機に神吉凜は仲間たちや店の雰囲気を変えていき……。

「教える技術」の最大のポイントは部下の“やる気や根性”ではなく「行動」に着目して、指導や育成を行うことであり「いつ・誰が・どこで」行っても効果が上がる科学的なメソッドになっている。

著者の石田淳(いしだ・じゅん)はアメリカのビジネス界で絶大な成果を上げる人間の行動を科学的に分析する行動分析学、行動心理学を学び帰国後、日本人に適したものに独自の手法でアレンジし「行動科学マネジメント」として展開させた。

精神論とは一切関係なく、行動に焦点をあてた科学的で実用的なマネジメント手法は短期間で8割の「できない人」を「できる人」に変えると企業経営者や現場のリーダー層から絶大な支持を集める。



みなさんからのリクエストを受け付けています。
遠慮なくリクエストをしてね！お待ちしております♪

